

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
泌尿器病態学

【研究課題名】 大阪市立大学泌尿器科における腎移植後 BK ウイルス血症に対する検討

【研究期間】

2010年6月1日から2014年10月31日までに当院でBKウイルス血症陽性と診断された腎移植症例を対象とします。

研究期間として倫理委員会承認後 ～2017年7月31日

【研究の意義・目的】

腎移植後BKウイルス腎症は予後不良であり、45%が移植腎機能喪失に至るとされています。移植腎長期生着のためにはBKウイルス腎症の予防、早期発見、早期治療が重要です。今回、当院でBKウイルス腎症の前段階であるBKウイルス血症陽性となった症例を検討し、BKウイルス感染症の治療、予防の可能性を探ります。

【研究の方法】

後ろ向き観察研究にて腎移植後BKウイルス血症と診断された症例について年齢、性別、透析期間、移植後経過、診断時腎機能、診断時血中BKウイルスコピー数、治療法、治療経過などについて評価します。

【研究参加拒否について】

本研究に参加したくない場合は下記問い合わせ先まで連絡ください。参加しない場合の不利益はありません。

【研究組織】

研究代表者 大阪市立大学医学部附属病院 泌尿器科 内田 潤次

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 大阪市立大学医学部附属病院 泌尿器科 内田 潤次

住所 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

電話 06-6645-3857

FAX 06-6647-4426

E-mail m9492120@msic.med.osaka-cu.ac.jp